

美術Ⅱ

科目ナンバリング ARL-102

【Ⅲ】 選択 2単位

山本 ゆかり

1. 授業の概要(ねらい)

主に日本の美術に親しむための授業です。秋期は、桃山時代から江戸時代までの日本美術作品の中から、毎回厳選したものを紹介します。限られた作品を深く、多角的に読み解くことで、作品そのものの魅力はもちろんのこと、作品がつけられた時代の技術や文化の特徴、歴史的背景も学べる内容を目指します。また折にふれ、美術館や博物館で開催されている展覧会を紹介し、受講生が積極的に実作品に触れる機会を増やしたいと思います。

2. 授業の到達目標

受講生が自ら美術品の展覧会に行く機会が増えることと、授業で取り上げる作品の中から好きなものや興味を抱く時代を見つけ、それについて解説できること。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験をもとに評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

辻惟雄 『カラー版 日本美術史』 美術出版社

5. 準備学修の内容

ジャンルは問わず、積極的に美術館、博物館に行き、美術作品を鑑賞すること。

6. その他履修上の注意事項

授業の理解度や興味を確認するため、授業中にリアクションペーパーを配る時があります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス 授業の内容と進め方などの説明 |
| 【第2回】 | 桃山時代の美術① |
| 【第3回】 | 桃山時代の美術② |
| 【第4回】 | 桃山時代の美術③ |
| 【第5回】 | 近世初期風俗画 |
| 【第6回】 | 浮世絵① |
| 【第7回】 | 浮世絵② |
| 【第8回】 | 浮世絵③ |
| 【第9回】 | 琳派① 俵屋宗達 |
| 【第10回】 | 琳派② 尾形光琳 |
| 【第11回】 | 琳派③ 酒井抱一 |
| 【第12回】 | 奇想の画家① 伊藤若冲 |
| 【第13回】 | 奇想の画家② 曾我蕭白 |
| 【第14回】 | 日本美術の海外への影響 |
| 【第15回】 | まとめと試験 |